## 2018年6月25日付け

## 緊急リリース

KH1/KH7Z の運用がいよいよ開始されます。チームを乗せた船は、順調に航海を続け、予定 より早くベーカー島に到着します。日本時間の 26 日朝に島へ到着、上陸準備を開始しま す。上陸後無線設備の設営次第 QRV となります。運用周波数は、英語版 Web サイトのバン ドプランを参照にして下さい。

http://www.baker2018.net/pages/plan.html

## 需要なお知らせ

KH1/KH7Z での FT8 DXpedition Mode の設定についてのお願い

KH7Z/MM で運用された現地の JN1THL 田沼さんからの報告で、FT8 の DXpedition Mode に対応していない局が多く見受けられ、交信がうまくいかないケースがあるそうです。再度、 皆様の FT8 の設定を確認して頂き、スムーズな交信が出来るようお願いいたします。

なお、FT8 の DXpedition Mode は WSJT-X の最新リリース版をインストールしただけでは、 その機能が使えません。FT8 の Settings で「Hound」チェック等の各種設定が必須です。 詳細は、下記にある日本語版解説(最新版)を熟読し、正しい設定での運用をお願いいたし ます。

FT8 DXpedition Mode の日本語版解説(最新版)は下記でダウンロードできます. http://www.qsl.net/ja7ude/wsjt/FT8\_dxpedition\_mode\_JP.pdf

下記は、主な設定と注意についてのリストです。

1) DXpedition Mode で使うソフトは、WSJT-X の最新リリース版 1.9.1 のみ

JTDX は、DXpedition Mode に対応していないので、使用出来ません。 必ず、WSJT-X の最新リリース版 1.9.1 をダウンロードして使って下さい。 Windows 版のダウンロードは以下の URL で出来ます. https://physics.princeton.edu/pulsar/k1jt/wsjtx-1.9.1-win32.exe 2) WSJT-X の最新リリース版 1.9.1 をインストールしたら、FT8 の DXpedition

Mode の設定をおこないます。

これはFT8 の Settings 等で行います。なにも設定しなければ通常 mode での交信となっ てしまいます。通常のFT8mode と DXpedition Mode は、同じソフトで設定を変えること で切り替えます。明確な DXpedition Mode という切り替えボタンがあるわけではないの で、設定に注意が必要です。

3) 呼ぶ側「hound」の設定

File ⇒ Settings ⇒ Advanced で「Hound」にチェックを入れます。これで FT8 DXpedition Mode で呼ぶ側の設定になります。 (DXpedition Mode への設定はこれだけで す)

Settings | Advanced タブのFT8 DXpedition modeでHoundをチェックします。Foxを通常のFT8モード で呼ばないように注意してください。

General	Radio	Audio	Tx Macros	Reporting	Frequencies	Colors	Advanced
JT65 VH	F/UHF/Micr	rowave dec	oding paramet	ers Miscella	aneous		
Random	erasure pa	atterns:	5	Degrad	de S/N of .wav file:	0.0 dB	-
Aggress	ive decodir	ng level:	)	Receiv	er bandwidth:	5000 H	z 🗘
Two	Two-pass decoding			Tx dela	ay:	0.2 s	\$
				🗌 x 2	Tone Spacing		
				<b>x</b> 4	Tone Spacing		

## 4) KH1/KH7Z の FT8 周波数の登録

DXpedition Mode は、通常の FT8 周波数を使用しません。WSJT-X の作業周波数リスト に KH1 / KH7Z FT8 周波数リストを追加して下さい。File⇒ Settings ⇒ Frequencies で、 Working frequencyの枠内を右クリックします。ここに KH1 が使用する FT8 周波数 を追加します。

KH1 が使用する FT8 周波数は KH1/KH7Z ウェブサイトの Operating Plan を参照してくだ さい。 http://www.baker2018.net/pages/plan.html

WSJT-XをFT8モードし、周波数をあらかじめアナウンスされた値に設定します。もし、周波数が Settings | FrequenciesタブのWorking Frequenciesに載っていなければ、ユーザーが追加しなければ なりません。Working Frequenciesテーブルを右クリックし、Insertを選択、そして、Mode = FT8 を選び、周波数をMHz単位で入力します。いくつでも、バンドと周波数を登録することができ ます。

General	Radio	Audio	Tx Macros	Reporting	Frequencies	Colors	Advanced
Frequer	ncy Calibratio	n					
Slope:	1.2641	ppm 🜲 1	Intercept:	2. 15 Hz 🖨	-		
Working	Frequencies	S					
IAR	U Region	Mode		🔘 WSJT-X	- Add Freque	. ?	× 1
	All	FT8					
	All	1165		IARU <u>R</u> egior	n: All		-
				mode:	FT8		-
	All	JT9		Erequency (	(MHz): 14.090		

5) Split Operation の設定

File ⇒ Settings ⇒ Radio で Split Operation を、Rig または Fake It に設定します。

すべての局は、WSJT-XのSetting|Radioタブで、Split部分をRigまたはFake Itに設定し、CATを使います。

Split Operat	ion	
O None		● Fake It

6) General Tab の設定

Settings | General タブで、Double-click on call sets Tx enableをチェックします。

	Monitor off at startup
<	Monitor returns to last used frequency
<	Double-click on call sets Tx enable
	Digable Tx after sending 73
	CW ID after 73

7)送信周波数の設定

送信周波数を Wide Graph 上で Shift+クリックして設定します. 1,000Hz 未満は、Fox 側 とコールバックがあった Hound が使用するため、1,000Hz 未満で送信した場合 Hound の 信号は無視されます。必ず 1,000Hz 以上で呼んで下さい。

主画面のTab 1で送信周波数 Tx nnnn Hzを1,000から4,000Hzの間に設定します。送信周波数は ウォーターフォールウィンドウでShift+クリックで設定することも出来ます。3000Hz以上はQRM が少ないかもしれません。

	O			
Tx even/1st	R	Generate Std Msgs	Next	Now
Tx 2500 Hz → Tx ← Rx	- (m	KH1/KH7ZZ K1JT	$\odot$	Tx <u>1</u>
Rx 300 Hz 🖨 Rx ←Tx		KH7ZZ K1JT -15	0	Tx <u>2</u>
Report -15 🗣		KH7ZZ K1JT R-15	0	Tx <u>3</u>
Rx All Freqs		KH7ZZ K1JT RRR	0	Tx <u>4</u>
Auto Seq		KH7ZZ K1JT 73 V	0	Tx <u>5</u>
DXpedition: Hound		CQ K1JT FN20	0	Tx <u>6</u>

8) QSO の方法について

Hound (自局のコール)に応答があった場合、自動的に Fox 側の周波数 (300Hz~900Hz) に QSY して「R+レポート」が Fox に送信されます。ですので、300Hz でも問題なく送信でき ることを予め確認しておくことが必要です。(送信帯域フィルター外となった場合、パ ワーが出ず送信出来ないことがあります)

9) Fox 側からの「RR73」の確認が出来なかった場合

Fox の周波数 (300Hz~900Hz) に QSY した後に、Fox 側からの「RR73」が来なかった場合 は、自動的に更に 300Hz 程度上に Hound (自局)が QSY して「R+レポート」が Fox に送信 されます。この動作は Enable Tx を OFF にしても再送されるため、離席する場合は注意 が必要です。

10) QSO の完了

Fox 側から「RR73」が来て QSO 完了し、ログインされます。 なお Hound (自局)が「RR73」を受信できず繰り返し「R+レポート」を送り続けた場合、 Fox は「RR73」を 3 回まで送信します。

11) パソコンの時計

基本的なことですが、正確な時刻合わせをして下さい。PC の時計を GPS 時間の±1 秒以 内に保つことは、適切なデコードのために必須です。

FT8 DXpedition Mode の日本語版解説(最新版)を参照し、自局を Hound に

設定、送信周波数を正しく追加設定して、FT8のDXpedition Modeを運用して

ください。